シラバス参照

タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	木３
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587021701	科目番号	05870217
授業科目名	●環境マネージメントⅡ(資源・エネルギー問題への取組み)		
編集担当教員	山下 敬彦		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 敬彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 敬彦,藤本 登,嶋野 武志		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamac@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部2号館E405		
担当教員TEL	095-819-2539		
担当教員オフィスアワー	別途指示する。		
授業の概要及び位置づけ	日本のエネルギーの特徴と課題や地球温暖化対策推進法，省エネ法等の関連法規の内容ならびに日本のエネルギー問題への取組みを理解させるとともに，省エネや地球温暖化防止に取り組む姿勢を醸成させる。		
授業到達目標	日本のエネルギーの特徴と課題を理解させる。また，日本のエネルギー問題への取組みを理解させる。		
授業方法（学習指導法）	予習課題を基にした討論と解説		

回	内容
1	ガイダンス 科目の概要，狙い，位置づけ，到達目標，授業の方法，各単元の到達目標，評価方法等を理解する。
2	Ⅰ日本のエネルギー事情（その１） 日本のエネルギー事情について，その特徴と課題，日本のエネルギー問題への取組みを理解し，簡潔にまとめる。
3	Ⅰ日本のエネルギー事情（その２） 日本のエネルギー事情について，その特徴と課題，日本のエネルギー問題への取組みを理解し，簡潔にまとめる。
4	Ⅰ日本のエネルギー事情（その３） 日本のエネルギー事情について，その特徴と課題，日本のエネルギー問題への取組みを理解し，簡潔にまとめる。
5	Ⅰ日本のエネルギー事情（その４） 日本のエネルギー事情について，その特徴と課題，日本のエネルギー問題への取組みを理解し，簡潔にまとめる。
	Ⅰ日本のエネルギー事情（その５）

授業内容	6	日本のエネルギー事情について，その特徴と課題，日本のエネルギー問題への取組みを理解し，簡潔にまとめる。
	7	Ⅱ地球温暖化対策推進法（その１） 地球温暖化対策推進法について，内容を理解し，簡潔にまとめる。
	8	Ⅱ地球温暖化対策推進法（その２） 地球温暖化対策推進法について，内容を理解し，簡潔にまとめる。
	9	Ⅱ地球温暖化対策推進法（その３） 地球温暖化対策推進法について，内容を理解し，簡潔にまとめる。
	10	Ⅱ地球温暖化対策推進法（その４） 長崎大学における地球温暖化対策について調べ，取るべき行動を理解する。
	11	Ⅲ省エネ法（その１） エネルギー使用の合理化に関する法律について，内容を理解し，簡潔にまとめる。
	12	Ⅲ省エネ法（その２） エネルギー使用の合理化に関する法律について，内容を理解し，簡潔にまとめる。
	13	Ⅲ省エネ法（その３） エネルギー使用の合理化に関する法律について，内容を理解し，簡潔にまとめる。
	14	Ⅲ省エネ法（その４） 長崎大学の省エネ対策について調べ，省エネ方法について理解する。
	15	テスト・レポートのまとめ テストによる知識の定着の確認を行う。また，資源・エネルギー問題への取組みのまとめを完成させる。
	16	総括 講義の評価を行い，改善点等について議論する。
キーワード	資源，エネルギー問題，温暖化対策	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教材はPDFファイルで提供する。参考書は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	予復習課題30％，試験20％，レポート50％で評価し，60％以上を合格とする。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	関連する新聞記事やニュース等をチェックしておくと理解が進む。	

戻る

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

シラバス参照

タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木３
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587022101	科目番号	05870221
授業科目名	●環境マネージメントⅡ(エネルギーマネージメント)		
編集担当教員	山下 敬彦		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 敬彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 敬彦		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamac@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部２号館E405		
担当教員TEL	095-819-2539		
担当教員オフィスアワー	別途指示する。		
授業の概要及び位置づけ	エネルギー・マネージメントの実際を理解させるとともに，エネルギーに関する長崎大学の現状と課題について理解を深めさせ，長崎大学コミュニティーの一員として適切な行動をとることができるようにする。		
授業到達目標	エネルギーに関する長崎大学の現状を分析し，課題とその解決に向けた案を示すことができる。		
授業方法（学習指導法）	PBL形式で授業を行う。		

回	内容
1	ガイダンス 科目の概要，狙い，位置づけ，到達目標，授業の方法，各単元の到達目標，評価方法等を理解する。
2	Ⅰ課題探求と課題解決の方法（その１） 課題探求と課題解決の方法について理解し，要点をまとめる。
3	Ⅰ課題探求と課題解決の方法（その２） 課題探求と課題解決の方法について理解し，要点をまとめる。
4	Ⅱ情報収集・分析（その１） エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し，分析を実施する。
5	Ⅱ情報収集・分析（その２） エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し，分析を実施する。
6	Ⅱ情報収集・分析（その３） エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し，分析を実施する。
7	Ⅱ情報収集・分析（その４） エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し，分析を実施する。

授業内容	8	Ⅲ課題の探求（その１） エネルギーに関する長崎大学の課題を探求し，解決すべき課題を抽出する。
	9	Ⅲ課題の探求（その２） エネルギーに関する長崎大学の課題を探求し，解決すべき課題を抽出する。
	10	Ⅲ課題の探求（その３） エネルギーに関する長崎大学の課題を探求し，解決すべき課題を抽出する。
	11	Ⅳ課題解決法の立案（その１） エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決のアイディアを出し，解決法を探索する。
	12	Ⅳ課題解決法の立案（その２） エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決のアイディアを出し，解決法を探索する。
	13	Ⅳ課題解決法の立案（その３） エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決のアイディアを出し，解決法を探索する。
	14	Ⅴ課題解決策のまとめ・提案（その１） エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決法を提案としてまとめる。
	15	Ⅴ課題解決策のまとめ・提案（その２） エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決法を提案としてまとめる。
	16	総括 講義の評価を行い，改善点等について議論する。
キーワード		エネルギーマネージメント，省エネ法
教科書・教材・参考書		必要に応じて資料を配布する。
成績評価の方法・基準等		グループワークへの貢献度40点満点，レポート60点満点の合計で評価し，60点以上を合格とする。
受講要件（履修条件）		特になし。
備考（URL）		
学生へのメッセージ		省エネ等に関するニュースや新聞記事をチェックしておくと役に立つ。

戻る

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

シラバス参照

タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	前期	曜日・校時	木４
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587022501	科目番号	05870225
授業科目名	●環境マネージメントⅡ(化学薬品等の取り扱い)		
編集担当教員	久保 隆		
授業担当教員名(科目責任者)	久保 隆		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	久保 隆,真木 俊英		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス	kubo-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合教育研究棟10階1008室		
担当教員TEL	095-819-2246		
担当教員オフィスアワー	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ	化学薬品等に関する取り扱いを理解し，化学薬品の取り扱いと安全・安心について理解する。また，安全な取り扱いができる。		
授業到達目標	化学薬品等を安全に取り扱うための基本的な知識を習得する（⑦）とともに、関連情報の所在を把握し、その意味を理解する（⑧）。また、世界の化学物質関連制度にも目を向けることができるようになる（⑩）。		
授業方法（学習指導法）	講義及び討論		

回	内容
1	ガイダンス: 科目の概要，狙い，位置づけ，到達目標，授業の方法，各単元の到達目標，評価方法等を理解する。
2	Ⅰ安全・安心とリスク（その１）: 安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
3	Ⅰ安全・安心とリスク（その２）: 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
4	Ⅱ毒劇物の取り扱い: 毒劇法（毒物及び劇物取締法）と毒劇物に関する学内規定（長崎大学における毒物及び劇物の取扱いに関する規則）を理解する。
5	Ⅲ特定化学物質の取り扱い: 特化則（特定化学物質障害予防規則）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。
6	Ⅳ有機溶剤の取り扱い: 有機則（有機溶剤中毒予防規則）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。

授業内容	7	Ⅴ実験時の安全（その１）: 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。
	8	Ⅴ実験時の安全（その２）: 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。
	9	Ⅵ毒性試験と毒性値: 毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。
	10	Ⅶ基準値等の設定: 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
	11	Ⅷ危険有害性に基づく化学薬品等の分類と表示: GHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）やラベル表示の概要を理解する。
	12	Ⅸ安全データシート（その１）: SDS（安全データシート）の概要を理解する。
	13	Ⅸ安全データシート（その２）: 具体的なSDSに記載されている事項を理解し、重要なポイントをまとめ、伝達する。
	14	Ⅹ世界の化学物質管理: 日本や欧米諸国等の化学物質管理制度について概要を理解するとともに、時代的変遷から現在を見つめ直す。
	15	テスト・レポートのまとめ: テストによる知識の定着の確認を行う。また、各単元のポイントのまとめを完成させる。
	16	総括: 講義の評価を行い，改善点等について議論する。
キーワード		リスク、化学物質管理制度、化学物質の登録制度、予防原則
教科書・教材・参考書		教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。
成績評価の方法・基準等		講義への積極的取り組み30％，試験20％，レポート50％で評価し，60％以上を合格とする。
受講要件（履修条件）		授業外学習に充てるべき時間：週平均2時間以上
備考（URL）		
学生へのメッセージ		

戻る

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

シラバス参照

タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木４
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587022901	科目番号	05870229
授業科目名	●環境マネージメントⅡ(環境汚染物質のマネージメント)		
編集担当教員	久保 隆		
授業担当教員名(科目責任者)	久保 隆		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	久保 隆		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス	kubo-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合教育研究棟10階1008室		
担当教員TEL	095-819-2246		
担当教員オフィスアワー	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ	環境汚染物質のマネージメントについて理解するとともに，長崎大学における廃液処理の実際を見学し，長崎大学コミュニティーの一員としてとるべき行動を示すことができる。		
授業到達目標	日本における環境汚染物質管理について自ら学び（④、⑧）、議論や発表を通じて理解を深める（⑤）。また、本学における化学物質関連情報に基づいて学生相互に意見を出し合い（⑤、⑬）、課題を発見・解析できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	討論及び講義		

回	内容
1	ガイダンス: 科目の概要，狙い，位置づけ，到達目標，授業の方法，各単元の到達目標，評価方法等を理解する。
2	Ⅰ課題探求と課題解決の方法（その１）: 課題探求と課題解決の方法について理解し，要点をまとめる。
3	Ⅰ課題探求と課題解決の方法（その２）: 課題探求と課題解決の方法について理解し，要点をまとめる。
4	Ⅱ汚染物質の動態と廃液処理施設（その１）: 大気汚染の概要を理解する。また、大気への負荷低減に果たす排ガス処理施設や本学廃液処理施設の役割を理解する。
5	Ⅱ汚染物質の動態と廃液処理施設（その２）: 水環境汚染の概要を理解する。また、水環境への負荷低減に果たす下水処理施設や本学廃液処理施設の役割を理解する。
6	Ⅲ公害に学ぶ（その１）: 過去の公害について調査・議論・発表し、当時起こった事実を理解する。

授業内容	7	Ⅲ公害に学ぶ（その２）： 公害について調査・議論・発表し、過去の事実および現状を理解し、世界の状況に目を向ける。
	8	Ⅲ公害に学ぶ（その３）： 公害についてまとめ、世界に発信すべき教訓を考える。
	9	Ⅳ長崎大学の排水管理（その１）： 本学の排水管理の概要を理解するとともに、排水分析結果を解析する。
	10	Ⅳ長崎大学の排水管理（その２）： 本学の排水管理の概要を理解するとともに、排水分析結果を解析する。
	11	Ⅴ長崎大学の実験廃液処理方法: 本学の有機系および無機系実験廃液処理施設の概要を学び、実施設の見学を通して体験的に理解する。
	12	Ⅵ長崎大学の廃棄物管理（その１）： 本学の廃棄物管理の概要を理解するとともに、廃液回収結果を解析する。
	13	Ⅵ長崎大学の廃棄物管理（その２）： 本学の廃棄物管理の概要を理解するとともに、廃液回収結果を解析する。
	14	Ⅶ長崎大学のPRTRデータ（その１）： 本学におけるPRTR法対象物質の調査結果を解析する。
	15	Ⅶ長崎大学のPRTRデータ（その２）： 本学におけるPRTR法対象物質の調査結果を解析する。
	16	総括: 講義の評価を行い，改善点等について議論する。
キーワード		廃液処理施設の役割、PRTR情報、環境管理システム、公害
教科書・教材・参考書		教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。参考書：「新版 死の川とたたかう」偕成社、「新潟水俣病問題―加害と被害の社会学」東信堂、「水俣病の科学」日本評論社、「水俣病」岩波書店
成績評価の方法・基準等		講義への積極的取り組み30％，プレゼンテーション20％、レポート50％で評価し，60％以上を合格とする。
受講要件（履修条件）		授業外学習に充てるべき時間：週平均2時間以上
備考（URL）		
学生へのメッセージ		定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します！

戻る

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

シラバス参照

タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	金３
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587023301	科目番号	05870233
授業科目名	●環境マネージメントⅡ(廃棄物のマネージメント)		
編集担当教員	竹下 哲史		
授業担当教員名(科目責任者)	竹下 哲史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	竹下 哲史		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	教育学部，経済学部，薬学部，水産学部		
担当教員Eメールアドレス	juniper@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	産学官連携戦略本部 2F		
担当教員TEL	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに，実際に廃棄物の分別を体験し，廃棄物のマネージメントに関する知識と理解を深める.		
授業到達目標	学内の「ごみ」の実態調査・分析から，社会に必要な廃棄物のマネージメントについて考察する力を身につける.		
授業方法（学習指導法）	学内における「ごみ」の実態調査，分析から現状の問題点を抽出し，解決方法を提案する.		

回	内容
1	【ガイダンス】 科目の概要，狙い，位置付け，到達目標，授業の方法，各単元の到達目標，評価方法等を理解する.
2	【Ⅰ 長崎大学における廃棄物の処理法（その1）】 長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する.
3	【Ⅰ 長崎大学における廃棄物の処理法（その2）】 長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する.
4	【Ⅱ 実態調査（その1）】 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行うための，調査方法の検討を行う.
5	【Ⅱ 実態調査（その2）】 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う.
6	【Ⅱ 実態調査（その3）】 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う.
7	【Ⅱ 実態調査（その4）】 長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行う.
	【Ⅲ 現状評価と問題点の抽出（その1）】

授業内容	8	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析から，現状を客観的に評価する.
	9	【III 現状評価と問題点の抽出（その2）】 長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出するための作業を行う.
	10	【III 現状評価と問題点の抽出（その3）】 長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する.
	11	【IV 問題点解決方法の探索（その1）】 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討する.
	12	【IV 問題点解決方法の探索（その2）】 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討する.
	13	【IV 問題点解決方法の探索（その3）】 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討する.
	14	【V 問題点解決方法の提案（その1）】 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を立案する.
	15	【V 問題点解決方法の提案（その2）】 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方法を提案としてまとめる.
	16	【総括】 一連の過程を振り返り，改善点等について議論する.
キーワード	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない．資料は適宜提示する.	
成績評価の方法・基準等	毎回の授業への積極的な参加30％，レポート70％で評価し，60％以上を合格とする.	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと.	

戻る

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.